



2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月9日

上場会社名 I-PEX株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6640 URL <https://www.corp.i-pex.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 土山 隆治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務統括部長 (氏名) 嶋崎 岳志 TEL 075-611-7155
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 2023年9月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	27,702	△6.1	△1,506	—	△1,017	—	△1,297	—
2022年12月期第2四半期	29,505	△10.0	1,710	△52.9	3,022	△26.4	1,181	△60.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 499百万円 (△89.8%) 2022年12月期第2四半期 4,885百万円 (18.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	△69.93	—
2022年12月期第2四半期	63.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	92,457	58,475	63.1
2022年12月期	92,237	58,346	63.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 58,368百万円 2022年12月期 58,241百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2023年12月期	—	20.00			
2023年12月期(予想)			—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,100	△0.9	360	△63.2	110	△94.8	△750	—	△40.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期2Q	18,722,800株	2022年12月期	18,722,800株
② 期末自己株式数	2023年12月期2Q	172,194株	2022年12月期	172,166株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期2Q	18,550,618株	2022年12月期2Q	18,530,848株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

なお、業績予想の前提条件等につきましては、[添付資料] P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P 5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、世界経済はインフレと金融引き締めにより緩やかに減速しました。また、ウクライナ情勢や米中対立など地政学リスクへの警戒感は引き続き高く、経済への悪影響が懸念されています。

わが国でも、ウクライナ情勢の緊迫化、急激な為替相場の変動、エネルギー価格の高騰など、経済情勢は依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社グループにおいては、電気・電子部品事業が低迷しましたが、自動車部品事業が復調し、設備事業は引き続き好調を維持しました。

当社グループの電気・電子部品事業は、主力製品であるコネクタが減少しました。ノートパソコン向けコネクタにおいては、第2四半期に入り増加傾向が見られたものの、パソコン市場の回復は力強さを欠き、低迷しました。HDD関連部品は、IT企業がデータセンター向け投資を抑制したことを受けて、大容量HDD部品の需要減少が継続しました。利益につきましては、付加価値の高いコネクタやHDD関連部品の売上高が落ち込んだことにより減少しました。

自動車部品事業は、自動車の生産に必要な車載半導体の不足が解消に向かい、自動車メーカーの生産活動が回復していることを受けて、安全走行系のセンサやLEDヘッドライト向けコネクタの需要が伸長しました。利益につきましては、売上高増加に伴う増益効果はあったものの、減価償却費や労務費等の管理費用が高止まりしていることを受けて低調な水準に留まりました。

設備事業は、スマートフォンやパソコン等に使用される半導体の需要が伸び悩む一方、車載半導体やパワー半導体の需要は堅調に推移したことを受けて、それらに使用される半導体封止装置が伸長しました。また、半導体封止装置用スペアパーツの需要が高い水準で推移したことや半導体関連装置以外の外販設備が増加したことも売上高を下支えしました。利益につきましては、付加価値の高い設備やスペアパーツの売上高が伸長したことにより増加しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は27,702百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業損失1,506百万円（前年同四半期は営業利益1,710百万円）、経常損失1,017百万円（前年同四半期は経常利益3,022百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,297百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1,181百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して220百万円増加し、92,457百万円となりました。主な増加要因は、受取手形及び売掛金1,503百万円、建設仮勘定227百万円等であり、主な減少要因は、機械装置及び運搬具924百万円、仕掛品562百万円等であります。

負債につきましては、91百万円増加の33,982百万円となり、主な増加要因は、賞与引当金1,125百万円等であり、主な減少要因は、短期借入金365百万円等であります。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少1,668百万円、為替レート変動の影響による為替換算調整勘定の増加1,838百万円等により129百万円増加し、58,475百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に公表しました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,293	14,178
受取手形及び売掛金	11,203	12,706
電子記録債権	1,374	1,331
製品	4,326	4,367
仕掛品	4,956	4,394
原材料及び貯蔵品	2,894	2,944
その他	2,145	2,814
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	41,193	42,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,392	26,622
減価償却累計額	△12,025	△12,536
建物及び構築物(純額)	14,366	14,086
機械装置及び運搬具	53,803	54,475
減価償却累計額	△35,343	△36,938
機械装置及び運搬具(純額)	18,460	17,536
工具、器具及び備品	25,853	25,943
減価償却累計額	△23,546	△23,982
工具、器具及び備品(純額)	2,307	1,961
土地	5,459	5,379
建設仮勘定	5,094	5,322
有形固定資産合計	45,688	44,286
無形固定資産		
のれん	2,038	1,930
その他	1,124	1,041
無形固定資産合計	3,162	2,971
投資その他の資産		
繰延税金資産	31	65
退職給付に係る資産	317	295
その他	1,865	2,147
貸倒引当金	△22	△44
投資その他の資産合計	2,191	2,463
固定資産合計	51,043	49,721
資産合計	92,237	92,457

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,010	2,156
電子記録債務	183	212
短期借入金	10,496	10,131
未払法人税等	260	421
賞与引当金	880	2,006
その他	5,841	5,287
流動負債合計	19,673	20,214
固定負債		
長期借入金	7,160	7,302
繰延税金負債	1,437	1,407
退職給付に係る負債	141	169
その他	5,478	4,887
固定負債合計	14,217	13,767
負債合計	33,891	33,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,968	10,968
資本剰余金	10,513	10,513
利益剰余金	32,365	30,697
自己株式	△363	△363
株主資本合計	53,484	51,816
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	4,319	6,157
退職給付に係る調整累計額	437	394
その他の包括利益累計額合計	4,756	6,552
非支配株主持分	104	106
純資産合計	58,346	58,475
負債純資産合計	92,237	92,457

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	29,505	27,702
売上原価	19,553	20,413
売上総利益	9,951	7,289
販売費及び一般管理費	8,241	8,796
営業利益又は営業損失(△)	1,710	△1,506
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	34
為替差益	1,390	440
助成金収入	7	131
その他	44	15
営業外収益合計	1,451	622
営業外費用		
支払利息	115	105
その他	24	26
営業外費用合計	139	132
経常利益又は経常損失(△)	3,022	△1,017
特別利益		
固定資産売却益	—	223
特別利益合計	—	223
特別損失		
固定資産売却損	179	—
投資有価証券売却損	469	—
減損損失	—	190
その他	193	29
特別損失合計	843	220
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,179	△1,014
法人税、住民税及び事業税	956	358
法人税等調整額	26	△75
法人税等合計	982	282
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,197	△1,297
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	15	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,181	△1,297

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,197	△1,297
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	—
為替換算調整勘定	3,726	1,839
退職給付に係る調整額	△38	△42
その他の包括利益合計	3,688	1,796
四半期包括利益	4,885	499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,867	497
非支配株主に係る四半期包括利益	17	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,952	8,384	2,167	29,505	—	29,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	82	—	107	△107	—
計	18,977	8,467	2,167	29,612	△107	29,505
セグメント利益又は損 失(△)	3,460	△132	294	3,622	△1,912	1,710

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,912百万円は、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,916百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、KRYSTAL株式会社及びMicroInnovators Laboratory株式会社の全株式を取得したことにより、連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては1,252百万円であります。なお、のれんの金額は取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電気・電子部品 事業	自動車部品 事業	設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,258	9,995	2,449	27,702	—	27,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	86	135	—	222	△222	—
計	15,344	10,130	2,449	27,925	△222	27,702
セグメント利益又は損 失(△)	124	△103	461	482	△1,989	△1,506

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,989百万円は、セグメント間取引消去21百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,011百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電気・電子部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において170百万円であります。

「自動車部品事業」セグメントにおいて、将来の使用が見込めなくなった遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において20百万円であります。